

世帯数配付 令和5年度 教育活動アンケート分析 及び 意見まとめ

半田市立半田中学校



過日協力頂きましたアンケートの結果です。
(集計結果)

100~80%…A / 80~40%…B / 40~0%…C *は調査なし

アンケートNo.	アンケート内容			割合 (%)											
				教師	保護者	生徒	教師			保護者			生徒		
				R5	R5	R5	R4	R5		R4	R5		R4	R5	
1	2	3	家庭・地域と連携をとるため、webページや通信、学校公開や家庭連絡等により、情報を提供している。	A	A	C	97	97	→	77	84	↑	27	28	↑
2	3	4	半中学校区の地域行事に積極的に参加するなど、地域や家庭と連携し、学校教育を行っている。	B	A	B	75	61	↓	62	84	↑	43	47	↑
3	4	5	生徒一人一人を大切に、相談や指導を行っている。	A	B	B	100	97	↓	76	79	↑	68	71	↑
4	5	6	生徒に目標をもたせて部活動運営を行い、心身の成長と健康の増進や技術の向上を図っている。	B	B	B	91	73	↓	75	70	↓	75	74	↓
5	6	7	生徒に、行事に対する目標を意識させ、目標が達成できるよう指導し、その成果があげられている。	A	A	A	94	91	↓	87	90	↑	84	89	↑
6	*	8	生徒が、個人や集団の目標を意識して生活するように指導し、その成果があげられている。	A	*	B	91	88	↓	*	*	*	57	59	↑
7	7	9-19	生徒に、わかりやすく、面白い授業となっている。	B	B	A	84	70	↓	62	67	↑	73	82	↑
10	8	20	学校生活の中で時間を意識する指導を行い、その成果があげられている。	B	B	A	91	76	↓	60	57	↓	84	87	↑
11	9	21	あいさつや返事ができる生徒を育てる指導を行い、その成果があげられている。	B	A	A	66	64	↓	82	85	↑	85	93	↑
12	10	22	「ものを大切に」「公共美化」の指導を行い、その成果があげられている。	B	B	A	75	67	↓	71	68	↓	87	91	↑
13	11	23	正しい身なりの指導を展開し、その成果があげられている。	B	A	A	94	79	↓	85	84	↓	83	89	↑
14	12	24	交通マナーやルールについて、機会あるごとに指導し、自ら安全を判断できる生徒を育成している。	B	A	A	75	73	↓	94	94	→	90	95	↑
15	*	25	どの生徒にも活躍の場を与え、居場所のある学級(学年)経営をしている。	A	*	B	91	91	→	*	*	*	74	78	↑
16	13	26	いじめをしない、させない雰囲気を、学級や部活動で醸成できている。	A	B	B	94	88	↓	50	57	↑	62	71	↑
17	*	27	学級の係や清掃、給食当番等、責任をきちんと果たすよう指導や支援をしている。	A	*	A	91	91	→	*	*	*	86	91	↑
*	14	28	学級が楽しい・楽しそうに登校している。	*	B	B	*	*	*	84	77	↓	76	78	↑
19	*	29	生徒自身にとっての幸せや、皆の幸せについて考える機会を設けることができた。	B	*	B	*	45	→	*	*	*	*	71	→

1 評価が全て「A」の項目

アンケートNo.	アンケート内容			割合 (%)											
				教師	保護者	生徒	教師			保護者			生徒		
				R5	R5	R5	R4	R5		R4	R5		R4	R5	
5	6	7	生徒に、行事に対する目標を意識させ、目標が達成できるよう指導し、その成果があげられている。	A	A	A	94	91	↓	87	90	↑	84	89	↑
17	*	27	学級の係や清掃、給食当番等、責任をきちんと果たすよう指導や支援をしている。	A	*	A	91	91	→	*	*	*	86	91	↑

生徒や保護者、教師の行事に対する思いが高い結果となりました。特に双鳩祭に向けては、今年もそれぞれの目標に向かって、各々が全力で取り組む姿が見られました。双鳩祭によって、生徒の心が大きく成長しました。また、自分に与えられた係活動や当番活動に責任をもって取り組もうとする姿勢は大変立派で、今後もぜひ継続してほしいと思います。

2 「A」が2つ「B」1つ

アンケートNo.	アンケート内容			割合 (%)											
				教師	保護者	生徒	教師			保護者			生徒		
				R5	R5	R5	R4	R5		R4	R5		R4	R5	
6	*	8	生徒が、個人や集団の目標を意識して生活するように指導し、その成果があげられている。	A	*	B	91	88	↓	*	*	*	57	59	↑
11	9	21	あいさつや返事ができる生徒を育てる指導を行い、その成果があげられている。	B	A	A	66	64	↓	82	85	↑	85	93	↑
13	11	23	正しい身なりの指導を展開し、その成果があげられている。	B	A	A	94	79	↓	85	84	↓	83	89	↑
14	12	24	交通マナーやルールについて、機会あるごとに指導し、自ら安全を判断できる生徒を育成している。	B	A	A	75	73	↓	94	94	→	90	95	↑
15	*	25	どの生徒にも活躍の場を与え、居場所のある学級(学年)経営をしている。	A	*	B	91	91	→	*	*	*	74	78	↑

生徒が個々の目標を意識して生活しているか、という項目に対して生徒と教師の差がありました。生徒がそれぞれの場でのねらいを明確にし、一人一人が目的意識をもって行動できるように改善していきます。また、生徒がクラスでの自分の居場所を確立し、活躍しているかどうか、という項目に関しても、生徒の充実感は微増ながらも生徒と教師の間で差がありました。どの生徒も居心地がよいあたたかいクラス、そして一人一人のよさを認め、自己肯定感がさらに高まるような学級経営を目指していきます。

生活面では、あいさつがしっかりでき、身なりを整えることができる、という生徒が多く、基本的な生活習慣の意識の高さを今後も継続してほしいと思います。

交通安全に関しては、今年度も交通事故や苦情が絶えませんでした。中学校区の交通量の多さから、半田中学校はどうしても交通事故が比例して増える傾向がありますが、起こってからでは遅い、ということを生

徒に言い聞かせ、事前に自分の身をしっかりと守れるように今後も交通安全指導を継続していきます。

3「A」が1つ「B」が2つ

アンケートNo.			アンケート内容	割合 (%)											
教師	保護者	生徒		教師	保護者	生徒	教師			保護者			生徒		
				R5	R5	R5	R4	R5		R4	R5		R4	R5	
2	3	4	半中校区の地域行事に積極的に参加するなど、地域や家庭と連携し、学校教育を行っている。	B	A	B	75	61	↓	62	84	↑	43	47	↑
3	4	5	生徒一人一人を大切に、相談や指導を行っている。	A	B	B	100	97	↓	76	79	↑	68	71	↑
7	7	9-19	生徒に、わかりやすく、面白い授業となっている。	B	B	A	84	70	↓	62	67	↑	73	82	↑
10	8	20	学校生活の中で時間を意識する指導を行い、その成果をあげられている。	B	B	A	91	76	↓	60	57	↓	84	87	↑
12	10	22	「ものを大切に」「公共美化」の指導を行い、その成果をあげられている。	B	B	A	75	67	↓	71	68	↓	87	91	↑
16	13	26	いじめをしない、させない雰囲気を、学級や部活動で醸成できている。	A	B	B	94	88	↓	50	57	↑	62	71	↑

生徒一人一人を大切に、相談や指導を行っている、という項目で教師と生徒の間に差が見られました。生徒から見て、まだまだ十分に教師の思いを感じられていないことの表れだと意識し、学級経営のあり方や、誰一人取り残さない個別支援のあり方を再考していきます。

言うまでも無く、学校や社会においていじめは言語道断です。いじめは絶対にいけない、という雰囲気が完全ではないというご意見は、学校全体の問題として真摯に反省し、改めて気を引き締めて参ります。教師一人一人のアンテナを高くし、少しでもいじめにつながりそうな事案は担任個々で抱え込まず、学年や学校全体で共有し、一つ一つの事案に対してより一層真剣に向き合っていきます。

授業に関しては、生徒の評価が上がったものの、まだまだ改善の余地があると感じています。教師の働き方改革が今後もより一層進み、様々なものが削減される方向にあります。授業だけは削られません。生徒にとって楽しい授業とは、わかりやすい授業とはどのようなものか、これから生きる生徒にどのような力をつけさせるとよいのか、今後も生徒の成長につながる授業を目指して参ります。

4すべての項目が「B」

アンケートNo.			アンケート内容	割合 (%)											
教師	保護者	生徒		教師	保護者	生徒	教師			保護者			生徒		
				R5	R5	R5	R4	R5		R4	R5		R4	R5	
4	5	6	生徒に目標をもたせて部活動運営を行い、心身の成長と健康の増進や技術の向上を図っている。	B	B	B	91	73	↓	75	70	↓	75	74	↓
*	14	28	学級が楽しい・楽しそうに登校している。	*	B	B	*	*	*	84	77	↓	76	78	↑
19	*	29	生徒自身にとっての幸せや、皆の幸せについて考える機会を設けることができた。	B	*	B	*	45	—	*	*	*	*	71	—

部活動に関しては、来年度9月から土日の活動がなくなります。また、昨今の報道でもある通り、教員の働き方改革は待たなしの状態です。現在、来年度の教育課程を練り始めていますが、平日の部活動の時間も限定的となります。これまで生徒の社会的スキルやストレス耐性を部活動に頼っていた部分をどう代替していくか、私たちの喫緊の課題でもあります。今後は部活動に替わるキャリア教育やボランティア学習を充実させ、地域と連携して取り組んで参ります。

また、全市を挙げて取り組んでいる「幸せ教育」については、個々によって「幸せ」の尺度が異なるため、一概には断言できませんが、学校が生徒に対して提供できる幸せとは何かを考えたとき、その一つは間違いなく「楽しい授業」だと考えます。学校生活の大半を占める「授業」が楽しければ、多からず生徒は幸せを感じ、学校に行きたいと思うようになります。授業で生徒を引っ張り、幸せを感じさせられるよう、私たちの授業力を磨いていきます。

5「C」がある項目

アンケートNo.			アンケート内容	割合 (%)											
教師	保護者	生徒		教師	保護者	生徒	教師			保護者			生徒		
				R5	R5	R5	R4	R5		R4	R5		R4	R5	
1	2	3	家庭・地域と連携をとるため、webページや通信、学校公開や家庭連絡等により、情報を提供している。	A	A	C	97	97	→	77	84	↑	27	28	↑

今年度も生徒の回答が低い結果となりました。定期的な通信の発行や、毎日のホームページの更新など、来年度も継続していきます。その中で、生徒が望むものは何か、どのようなものを期待しているのかを適宜確認しながら情報発信をしていきます。

記述回答（概要） ○良かった点、△改善してほしい点のまとめ

内容が多岐にわたる場合は、項目ごとに分割して集約しました。また、担任・担当個々に直接伝えた方がよい内容については、担当に直接伝え、ここへは掲載してありませんので、ご承知おきください。

<学習について>

○さつまいもの次はイチゴと楽しそうに話してくれます。貴重な体験をさせてもらい、ありがとうございます。

△勉強についていけない子へのサポートをしてほしい。学力差が生じていて、解らないことを塾で補う子が多い。

(数名)

△宿題について、全員一律の作業的な物に意味はあるのか。ただ書き写す、何回もやる、できることに無駄な時間をかけて、質より量で評価されることに納得がいきません。生徒のレベルに応じて宿題を出すのは、先生にとっては負担かもしれません。それなら、生徒それぞれが、その日の授業でできなかつたり分からなかつたりする問題があった場合に、それを宿題としてできるまでやる、それが必要でない生徒は予習、復習等、自分に必要な学習をする、そういった臨機応変な宿題の出し方にしてもらいたいと思います。

△宿題は宿題。課題＝自主学习＝テスト勉強、テスト期間は早く帰って友達と遊びまくれる日という子どもの認識です。宿題と課題は最低限学校から言われてやるもの。テスト勉強は自主的に学ぶもの。テスト期間は、自宅で自主的に自分の気になるところを強化するテスト勉強をするための期間として学校が設けたものという認識なのですが、学校ではどのように伝えてらっしゃるのでしょうか。また、タブレットに関して、学校の授業で使用されていることと思いますが、持ち帰り、全く関係ないことで長時間…それこそ寝るまで使っていることも多いです。学校で本来の使用用途と異なることでの使用（職場でいう、備品の私物化）の禁止はされていないのでしょうか。依存化が気になります。

一人一台のタブレット端末が普及し、学校においてもこれまでの授業の常識が一変しました。生徒の学びの中に、タブレット端末は必要不可欠となりました。しかし、全てをタブレット端末に依存することは大変危険です。特に多感な時期の小中学期において、五感を使って体験する意義は言うまでもありません。これからも、デジタル情報で完結せず、主体的で協働的な学びができるよう、話し合いなど体験活動を大切にしていきたいと思えます。

学力の格差に関しては、私たちも共通の悩みを抱えています。一斉授業という限られた時間の中で、学力を確実に身につけさせながらも、学んだ知識を実生活に生かせるようどう導いていくか、生徒が主体的に学びに向かうためにはどう支援をしたらよいか、教科指導を通してどのような姿に育てていきたいか。一人一人に学力を定着させるべく、どの生徒も取り残さないような指導方法を再考し、授業を組んでいきます。

宿題に関しては、それぞれに合ったレベルや内容が理想的ですが、ご指摘いただいたように、個々に合った宿題を用意することは、教員の働き方改革が進む中で現実的とは言えません。しかし、ご意見にあるように、生徒個々の力を伸ばす宿題に自ら取り組めるよう、宿題のあり方を検討して参ります。

テスト期間は、テストに備え、個々のつまずきを克服したり一層学力を伸ばしたりする期間です。従って、教科担任からの定着させたい課題に取り組み、その中で分からない部分を自主的に追求してほしいと思っています。ご家庭でもぜひ、同様の支援をしていただけたらと思います。

タブレット端末の使用に関しては、学校内外を問わず目的外使用は禁止しています。ご家庭でも、貸与されたタブレット端末の扱い方について、ぜひ話をさせていただきたく思います。

<新型コロナ感染症の面>

○コロナ自粛も軽減され、昔のような行事を行えるようになってよかったです。やはり感染リスクはあっても行事を行うことは大切だと感じます。行事後のうがい手洗いをもっとしっかりやらせれば、感染リスクはもう少し減るのではないのでしょうか。

今年度は、学校生活においてインフルエンザが流行し学級閉鎖を判断しました。今後も感染症対策を行い、行事も行って参ります。また、保護者の皆様にもできるだけ生徒の姿を見ていただけるよう、参観の機会を設けたと思います。

<行事面について>

○双鳩祭での生徒達の姿は生き生きとしていました。そのような姿が見られてよかったです。(数名)

○体育祭が観覧できてよかったです。(数名)

△文化祭を配信していただけたことは嬉しかったです。音声割れたり画質が悪くなったりしました。(複数)

△合唱コンクールが今まで毎年あったが、今年は1・2年生のみ開催されていません。なぜなくなったのかが説明されておらず、楽しみにしていた人にとってはとても残念です。(複数)

△月の予定が1ヶ月単位で分かる、学校行事に合わせて仕事の休みが取れるので助かります。

△文化祭が保護者の見学ができないなら早めに伝えてほしかった。仕事の休みを取ってしまった保護者がたくさんいたはず。

今年度の体育祭は、コロナ前の実施方法で行いました。今後も検討を重ねながら実施して参ります。

文化祭の配信は、昨年度に比べカメラを複数にし、舞台との距離も縮めましたが、機材の質に限界がありました。来年度は文化祭に、保護者の皆様が参観できる方法を検討して参ります。

今年度から合唱コンクールは、全校行事から学年行事に移行し、開催の有無も学年裁量になりました。その理由として、全校規模の合唱コンクールとなると、授業時間を削ったり、授業後に練習時間を設けたりして、生徒が体育祭、文化祭、合唱コンクールを同時に取り組むことで多忙となり、負担感がありました。また、このことがしっかりと保護者の皆様にお伝えできておらず、申し訳ございませんでした。

保護者の皆様への伝達は改善して参ります。

<職員に対して>

○たくさん生徒を観ている中、とても大変ですが担任はしっかりと生徒と向き合っています。(複数)

○双鳩祭や参観日を通して、生徒と先生の距離が近く、楽しい雰囲気が伝わってきます。日頃から先生方が寄り添ってくださるおかげだと思います。ありがとうございます。(複数)

△教師の指導力をあげてほしい。生徒間のトラブルやいじめ等に対して、適切に対応してほしい。

教職員に対するあたたかいお言葉をたくさんいただきました。ありがとうございました。

一方で、叱咤もたくさんいただきました。個々に対するご意見のため掲載しておりませんが、全てを教職員で共有しました。反省すべき点や改善すべき点を確認し、今後の指導に生かして参ります。なお、今後もお気づきの点がございましたら、いつでも学校にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

<生活について>

△今年度より制服がブレザーに変わり、個々の体調に合わせた重ね着がしやすくなったので、時代に合わせたルール変更を求めます。(校則に関して複数)

△通学途中に交通ルールを守っていないのをよく見かけるので、指導してもらいたいです。

△紙の案内と tetoru の案内を同時に出してほしい。子どもがプリントを出してくれれば問題ないのですが…。(数名)

校則に関するご意見を複数いただきました。時代の流れや、生徒の意見を取り入れながら、学校だけではなく生徒会や学校運営協議会にも諮って検討していきたいと思っております。

今年度も自転車の乗り方や歩行のマナーに関するご意見や苦情を複数受けました。命に関わることなので、学校でももちろん指導していますが、ぜひご家庭でも話をしていただきたいと思います。学校と家庭、地域と手を組んで、子どもの命を守っていきたくて考えています。よろしくお願いいたします。

今年度は、紙の案内配付と tetoru の配信と、担当者が異なったためにタイムラグが発生してしまいました。次年度からは担当者を統一します。しかし、ご指摘の通り「子どもが親に学校からの案内を渡す」という直接伝える習慣を身につけさせることが最優先です。技術の進歩によって見失われがちな大切なものを取り違えることなく、学校でも指導して参ります。ぜひご家庭でもお声がけをお願いいたします。

<その他の内容に対して>

△勉強や地域活動への参加について、「成績につながるから」という話を耳にします。成績反映を目的とするのではなく、その本来の意義や大切さについて、子ども達が理解し、興味を持てるように情報を伝えていただけるとありがたいです。

△初めて子どもの授業風景を参観しました。立つのが辛いので、椅子があると助かります。

△授業参観の時に廊下に飾ってある生徒の様子の映っている写真ですが、購入できますか。

△南吉記念館から岩滑中町信号に至るまでの通学路が本当に危険です。事故があってからでは遅すぎます。市民病院が移転し、交通量が増えるのは目に見えています。歩道の整備を市や県に依頼してください。

半田中学校の生徒は、よくボランティア活動に参加してくれています。その姿には地域からも称賛を受け、本当に心を打たれます。参加する目的は様々かもしれませんが、その際に、毎回自分の幸せと人の幸せのためというボランティアの意義を話しています。参加した生徒は、地域の人とつながるうれしさ、人の役に立つ喜びを実感しています。

授業参観での椅子の準備は、基本的には出来かねますが、個別の配慮が必要な場合は、遠慮無く担任にお申し付けください。

教室や廊下の掲示物の販売は行っておりません。ご了承ください。

南吉記念館から岩滑中町交差点にかけての道は、ご指摘の通り渋滞も激しく、大変危険です。市民病院が移転すると交通量が増えることは容易に想像がつかます。他にも交通量が増えて危険な箇所がございますので、市に要望し続けたいと思っております。

教育活動アンケートへのご協力、ありがとうございました。頂いた激励は明日への糧に、また叱咤に関しては真摯に受け止め、教職員一同が一丸となって生徒に向き合っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。